



幼保連携型認定こども園

倉治こども園

こども園だより

令和 7年 1月 6日発行

園長 伊賀 治

## 新年あけましておめでとうございます

幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は倉治こども園に対しましてご理解ご協力いただきありがとうございました。本年もどうぞよろしく願いいたします。天候的にも穏やかなお正月でしたが、それでも厳しい寒さが続いています。引き続き、感染症や体調管理には十分ご注意ください。



さて、年末の31日には機物神社のお祓式に参列し、お正月には地元の神社にお参りし、昨年1年のお礼(感謝)と今年1年の無事をお祈りしました。今年も倉治こども園の子どもたちの健やかな成長を願っています。

今年の干支は乙巳(巳年)であり、脱皮する蛇のイメージから「復活と再生」「努力を重ね物事を安定させていく」という意味合いを持つ年と言われています。園でも日頃の小さな積み重ねを大切にし、子どもたちの健やかな育ち(成長)につなげていければと思います。1月も「年のはじめの集い」「かるた大会」「お正月遊び」「お店屋さんごっこ」などの行事があります。日本の伝統文化を感じつつ、子どもたち一人一人が主体的に取り組んでくれることを期待しています。

### 「お金の使い道」

お正月にはお年玉もあって子どもたちはお金を手にします。当面は大人が管理しますが、どのような使い道があるのでしょうか。ずいぶん前の話になりますが、お年玉を何かに役立てたいと考えた小学生の姉弟が、市役所に寄付をしに行ったそうです。驚いた市役所の方は、親御さんに電話をしますが、父親は「子どもたちの寄付を受け取って下さい」と答えたそうです。



お金の使い道は、①自分のために使う、②貯金する、③人のため、社会のために使うと、3通りありますが、バランス良く使い道を考えていければと思います。

メジャーリーガーの大谷翔平選手は、全国の小学校へグローブを寄贈、能登半島地震への支援、留学生への支援など、人のため、社会のために貢献されています。金額の大小ではなく、考え方のベクトルが、「自分のため」に向いているのか、「人のため」に向いているのか、そのことが大事になります。社会に少しでも役立つ、貢献できる自分でありたいものですね。

## 【元気いっぱいおもちつき体験】12月10日

この日、園児たちは、杵を振り上げおもちをめがけて「ぺったんぺったん」と、今では経験することが少なくなったもちつき体験をしました。見るのとやるのでは大違いで、苦戦しながらも頑張っており組んでいました。日本の昔ながらの文化に触れる機会にもなりました。



## 【がんばった発表会】12月7日

発表会(2~5歳)では、多数ご参観いただきありがとうございました。緊張する中子どもたちは精一杯の発表をしてくれました。合奏や合唱も意欲的に取り組み、劇では、さくら組「美女と野獣」、もも組「うらしまたろう」、うめ組「ぼんたのじどうはんばいき」、すみれ組「ぐりとぐら」に挑戦しましたが、どのクラスも本番では1番の頑張りを見せてくれました。子どもたちの頑張りによって大きな拍手を送りたいと思います。子どもたち一人一人にとって、かけがえのない経験となり、親子にとっても園生活の大切な思い出の1ページになったことと思います。



## 【楽しかったクリスマス会、クリスマス演奏会】

○クリスマス会では、サンタさんの登場に大きな歓声があがりました。クリスマスソングを歌ったり、一緒に写真を撮ってプレゼントをもらったり、ハンドベルやクリスマスのお話、キャンドルサービスと盛りだくさんの楽しいクリスマス会になりました。



○大学生の音楽ユニット「おかきブラス」の皆さんがクリスマスにちなんだ楽曲を中心に披露してくれました。子どもたちも知っている曲と一緒に歌うなど楽しい演奏会になりました。トランペット、ホルン、ユーフォニアム、チューバと本物の楽器の音色に触れる貴重な機会にもなりました。

★先輩からの年賀状より「オアシス」を紹介します。

オ「おかげさまの心を大切に」 ア「ありがとうと言うように言われるように」  
シ「失礼します、失礼しました」 ス「すいませんを素直に言えるように」  
オアシスのような人になりたい。と記していました。

年賀状からその人柄や謙虚さが伝わってきます。今年も、素直な心で、感謝の気持ちを忘れず、ご縁のある方々に喜んでいただけるような1年にしたいと思います。